



2024年7月18日

各 位

会社名 株式会社カヤック  
代表者名 代表取締役 CEO 柳澤 大輔  
(コード番号 3904 東証グロース)  
問合せ先 執行役員 管理本部長 柴田 史郎  
電話番号 0467-61-3399

## 株式会社メガ・コミュニケーションズの株式取得 (子会社化) に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社メガ・コミュニケーションズ（以下「メガ・コミュニケーションズ」）の株式を取得し、子会社化することについて決議いたしましたので、下記の通りお知らせします。

### 記

#### 1. 株式取得の理由

カヤックは創業以来、「面白法人」という企業理念、「つくる人を増やす」という経営理念のもとで、クリエイターを中心とした組織で事業を多角的に展開してきました。話題性のある広告やゲームなどのデジタルコンテンツ領域を軸としながら、eスポーツや地方創生などのコミュニティ関連領域や、冠婚葬祭などの様々なライフスタイル事業にもビジネス機会を広げ、様々なテーマでクリエイターによるコンテンツ的な付加価値創造を進めています。

メガ・コミュニケーションズは、北海道・札幌で2006年に創業し、「もの」や「サービス」を提供する顧客と消費者や生活者が「つながる」ための「デジタル」と「リアル」を融合したPRマーケティング事業を展開しています。民間の広告プロモーション支援のほか、官公庁等の各種事業運営における移住施策や企業誘致等業務、輸出を含む海外への進出支援、セミナー運営やセールス、海外向け広告配信やデジタルマーケティングや映像制作などインバウンド向けのプロモーション支援などを行っております。

両社は2024年3月よりカヤックの地域移住・関係人口促進のためのサービス「SMOUT（スマウト）」の取次パートナー契約を締結し、北海道地域に密着するメガ・コミュニケーションズとのシナジーを発揮し、SMOUTサービスを通じて都市部から人を正社員、副業・複業で雇用する機会の創出に貢献してまいりました。

今後はメガ・コミュニケーションズのM&Aにより、面白法人グループとしてシナジーを発揮し、以下の事業成長を狙い、北海道の産業振興にも貢献してまいります。

### 海外向けブランディング・プロモーションサービスの拡大

メガ・コミュニケーションズのもつ北海道での事業基盤および「デジタル」と「リアル」を融合したPRマーケティングの知見と、カヤックのクリエイティブ力、技術力を掛け合わせることで、北海道企業の海外向けブランディングやデジタル活用をしたプロモーションサービスを拡大させてまいります。

具体的には、昨今北海道で人気の道産日本酒やワイン等の海外販路開拓なども手掛けていきたいと考えています。北海道の農林水産物・食品の輸出額は2022年で1103億円（前年比30.8%増）（※1）と2020年から3年連続右肩上がりとなっており、今後も平均気温の上昇により北海道で栽培できる作物が増えていくと言われてしています。こうした日本の食糧基地北海道から、世界を狙う北海道企業のブランディング、プロモーションサービスに注力してまいります。

### 北海道の過疎地域の持続可能性を維持するために、自治体DXを推進

人口密度が低いほど一人当たり行政コストが高くなる関係が指摘されていますが、北海道の人口密度は都道府県別で最下位であり、もっとも自治体DXが求められている地域と言えます。「自治体におけるDX推進」に関する調査（※2）によると、課題は「職員のITスキル不足」が6割で最多。そのため多くの自治体では職員のITスキル不足を民間への発注によって補う計画を立てていますが、そこには、発注側の自治体職員にITスキルがなければ最適な民間企業への発注ができないという問題があります。

そこで北海道下川町では、今回メガ・コミュニケーションズの代表取締役役に就任するカヤック執行役員の柴田を地域活性化起業人としてCIO補佐官に着任させ、「民間企業ITスキルを持つ人材が自治体側に立ち、最適な外部パートナーを探す」方針をとっています。

今後はCIO補佐官で培った柴田の経験を活かし、「自治体職員側に立つITスキル人材の派遣」と「北海道資本の企業を中心とした民間企業群の組成」の2つにより、各自治体にとって「ちょうどいい」自治体DXの解決策を提供していきます。

※1 農林水産省 「北海道農業をめぐる事情」令和5年10月

[https://www.maff.go.jp/hokkaido/policy/jyousei/attach/pdf/meguruzizyou\\_2023-22.pdf](https://www.maff.go.jp/hokkaido/policy/jyousei/attach/pdf/meguruzizyou_2023-22.pdf)

※2 一般社団法人中小企業個人情報セキュリティー推進協会

<https://www.sp2.or.jp/report/705/>

## 2. 株式の異動の方法

当社は、2024年7月31日付で、メガ・コミュニケーションズの発行済株式88株のうち、既存株主より88株を取得する予定です。

これにより、当社はメガ・コミュニケーションズの株式を88株（100.0%）取得することになり、メガ・コミュニケーションズは当社の連結子会社となる予定です。

### 3. 異動する子会社の概要

(1) 名称	株式会社 メガ・コミュニケーションズ			
(2) 所在地	北海道札幌市中央区北2条西20丁目2-1			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 秋元 正明			
(4) 事業内容	広告に関する企画、制作およびPR及びマーケティング、海外輸出に関するコンサルティング及び各種プロモーション業務、地域の観光コンテンツや食コンテンツ開発に関する各種支援業務			
(5) 資本金	10,000 千円			
(6) 設立年月日	2006年10月			
(7) 大株主及び持分比率	秋元 正明 100%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近の経営成績及び財政状態				
	決算期	2021年6月期	2022年6月期	2023年6月期
	純 資 産	18,611 千円	19,727 千円	30,558 千円
	総 資 産	138,658 千円	179,360 千円	205,430 千円
	1株当たり純資産	211 千円	224 千円	347 千円
	売 上 高	461,146 千円	507,198 千円	508,813 千円
	営 業 利 益	▲19,152 千円	▲10,485 千円	2,399 千円
	経 常 利 益	▲845 千円	▲1,528 千円	22,002 千円
	当 期 純 利 益	▲1,156 千円	1,116 千円	10,830 千円
	1株当たり当期純利益	▲13 千円	12 千円	123 千円
	1株当たり配当金	—	—	—

(注) 上記経営成績及び財政状態については、監査法人による監査を受けておりません。

### 4. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏名	秋元 正明
(2) 住所	北海道札幌市
(3) 上場会社と当該個人の関係	該当事項はありません。また、関連当事者にも該当いたしません。

### 5. 取得株式数及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0株 (議決権の数: 0個) (議決権所有割合: 0.0%)
(2) 取得株式数	88株 (議決権の数: 88個) うち株式譲渡による取得 88株
(3) 取得価額	本件株式取得価額は守秘義務履行のため、非開示とさせていただきます。
(4) 異動後の所有株式数	88株 (議決権の数: 88個) (議決権所有割合: 100.0%)

※取得価額につきましては、当社が算定した株式算定価値のレンジ内において両社協議のうえ決定しております。

## 6. 日程

(1) 株式譲渡契約締結日	2024年7月18日
(2) 株式取得日	2024年7月31日

## 7. 今後の見通し

本件については、2024年12月期の当社連結業績に織り込んで計画を行っておりますが、今後開示すべき事項が生じた場合には、別途開示させていただきます。

以 上